

新政レポート

vol.10

平成31年3月5日

発行元

舞鶴市議会

新政クラブ議員団

責任者/上野 修身

“新政クラブ議員団”新メンバーで新たなる出発！ 誰もが心豊かに暮らせるまちづくりを目指して！

幹事長あいさつ

厳寒の中にもようやく春を感じる季節となつてまいりました。
市民の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶びを申し上げます。
平素は、新政クラブ議員団に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。
本当にありがとうございます。

さて、昨年秋に執行されました舞鶴市議会議員選挙におきまして、新たなるメンバーを迎え、ここに再スタートをさせていただくこととなりました。新たに加わっていただいたのは、田畑篤子、仲井玲子、野瀬貴則の3名であります。

再スタートに当たり、我々新政クラブ議員団は、舞鶴市政を担う多々見良三舞鶴市長、そして市民の皆様とともに、舞鶴市発展のために一致団結して働いてまいる所存であります。

どうか、より一層のご支持ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
上野 修身



多々見市長とともに

“新政クラブ議員団” メンバーご紹介

私たち、新政クラブ議員団8名は、二元代表制(議決権を持つ議会と、執行権を持つ市長がそれぞれ市民の直接選挙で選出される制度)の意義を踏まえ、舞鶴市議会議員として真に舞鶴市の発展と市民の皆様の安心安全な地域づくりを目指し、時代のニーズを見据えながらしっかりと働いてまいります。

公正・公平 安全・安心



上野 修身
うえの おさみ
幹事長
議会運営委員会 委員長
予算決算委員会 委員長
議会活性化特別委員会

- 1.少子高齢化、人口減少対策
労働力不足。医療・介護・健康保険・年金など多くの課題の中、健全な財政運営に努めます。
- 2.防災・減災対策
多発する自然災害、尊い生命・財産を守るため、全力を尽くします。
- 3.便利な田舎暮らし
●山陰新幹線の早期整備計画化、早期実現。
●地域コミュニティの強化。

決断・実行・検証 安心して暮らせるまちづくり



今西 克己
いまにし かつみ
産業建設委員会 委員長
議会運営委員会 予算決算委員会

- 1.安心の医療
●市内公的4病院の医療機能の強化
 - 2.防災体制の強化
●由良川緊急治水対策事業の推進
●海上自衛隊、海上保安庁、京都府警察との連携
 - 3.雇用の創出
●本市の経済発展に資する企業の誘致
 - 4.安心のまちづくり
●大規模災害に備えた防災訓練の実施と検証
 - 5.地域福祉の充実
●子育て世代への支援
●高齢者外出支援事業の推進 etc
- ホームページ、フェイスブックをぜひご覧ください
e-mail : asuka645-1123@nike.eonet.ne.jp
ホームページ <http://imanishi-katsumi.net>

子供たちの未来に光あるまちづくり



綱 慶一
たいけい いち
幹事
福祉健康委員会 委員長
議会運営委員会 予算決算委員会
原子力防災・安全等特別委員会
議会活性化特別委員会

- 1.明るい未来の地域づくり
●常に皆さんのそばにいる議員
●市民と行政の「かけはし」となる議員
●帰ってきたい舞鶴のための政策提言
- 2.経験を活かしたまちづくり
●緊急時、迅速な対応で市民の安心を
●機動力を活かした安全確保
●住みやすいまちづくりの政策提言

kyotokeicyanok@gaia.eonet.ne.jp

産んでよし、暮らしてよし 安心な老後と看取りのできる環境づくり



田畑 篤子
たばた あつこ
福祉健康委員会 予算決算委員会
原子力防災・安全等特別委員会

- 1.子育て支援
●周産期・小児医療施設の機能一本化
●「医療的ケア児」の安心な在宅支援
●「小児退院支援コーディネーター」の配置
●小児訪問看護の拡充・小児訪問看護師の育成
●支援学校通学者の放課後支援事業拡大と支援
●障害児の自立就労支援
●病児保育の拡大による女性の就労支援
- 2.安住の地が竟の住処になれる
●誰もがその人らしい逝き方の選択と看取りができる
●在宅・施設での「看取りケア」の推進
●医療的処置実施者の拡充(研修制度の設置)
- 3.女性活動支援
●女性活動団体の連携を取り、女性の視点での活力あるまちづくり

tabaken_mill0828@hb.tp1.jp

しなやかに女性力! 実行力!



仲井 玲子
なかい れいこ
産業建設委員会 予算決算委員会
広報会議 (FM放送部会)

- 1.子供の自尊心を育て、いじめのない社会へ
大切な舞鶴の子供たちが心身ともに健やかに育ちますように、幼いころから自尊心を育てる教育を!
- 2.舞鶴ならではの観光づくり
市民が一体となって、おもてなしのまち・舞鶴へ
- 3.音楽のまち・舞鶴
ジャズをはじめ、様々なジャンルに携わる音楽家が多い舞鶴。市民の交流の場として、また観光へも活かせる取り組みに努めます。
- 4.災害に強いまちづくり
災害時に被害を最小限に抑える体制づくり。地域の消防団の活性化など災害に備えた地域互助・共助力のアップに取り組みます。
- 5.子育て世代を支援するまちづくり
子育て世代と子育て卒業世代を結び、風通しのよい子育て環境づくりに取り組みます。

<http://rnso.maizurukomachi.net/>

常に挑戦



野瀬 貴則
のせ たかのり
市民文教委員会 予算決算委員会

- 1.子育て世代を多方面から応援
家族である子育て世代を仕事・教育・福祉の多方面からサポートし、ひとり親等へのサポートを充実させます。
- 2.防災への取り組み
毎年のように続発する災害に対する早期復旧と防災の取り組みを推進します。
- 3.地域のサポート
既存の枠組みを超えて協力・解決できる方法を提案します。自治会の相互協力などで負担を大いに軽減させます。

info@nosetaka.com

夢ある未来! 明日の舞鶴のために!



眞下 隆史
ましも たかし
市民文教委員会 原子力防災・安全等特別委員会 委員長
広報会議 (議会報編集部会 副部会長)

- ま、まちづくりは安心安全から
し、市政の安定は市民の安定から
も、ものづくりから雇用の拡大へ
た、田畑(農業)・漁業の発展
か、家族の笑顔が一番
し、幸せな暮らしを追求
!、市民の方に必要な議会を追求

mashimo-oura@zeus.eonet.ne.jp

やりがい・生きがいのある地域づくり



水嶋 一明
みずしま かずあき
監査委員(議会選出)
総務消防委員会
京都府後期高齢者医療広域連合議会議員

- 1.安心・安全な生活の確保
緊急時における住民市民の防災意識の高揚の推進
- 2.教育の充実
教育環境の整備支援や生涯学習の環境支援
- 3.第1次産業の活性化
農家の経済的自立を目指す取り組みの支援
- 4.活力あるまちづくり
●新規企業の立地、既存企業の振興、各地域の伝統文化活動の支援
●若者が「住んでみたい」と思えるまちづくりの推進
- 5.高齢化対策の充実
高齢者福祉充実の支援

【12月定例会】一般質問に今西・仲井・野瀬・田畑・鯛・眞下議員が登壇!

(質問順)

1 府道西神崎上東線の嵩上げ拡幅改良促進を問う

Q 府道西神崎上東線の油江地区の約500メートルの区間は、低地帯であり道路幅も狭く、強めの降雨があるとすぐに冠水する。豪雨の時には、油江、神崎地区が2日間も孤立するという異常な事態が慢性的に発生している。地元住民の皆様の生活を守るため早急な嵩上げ拡幅工事が必要である。本市の考えを問う。



今西克己 議員

A この区間の地形的な特性から未整備区間の9割は由良川の堆積物による軟弱地盤の層であり、盛り土をすることによって軟弱地盤全体が鉄道敷とともに川の方に変位する恐れがあります。今後、京都府において再調査が行われ工法の再検討がされると聞いており、市としても要望してまいります。

2 地域おこし協力隊員について問う

Q 平成27年8月、加佐地域農業農村活性化センターに地域おこし協力隊員さんが配置され、農業振興・地域振興を担っていただいた。隊員さんの任期3年間をどのように評価しているのかを問う。

A 農業体験や農村ビジネスにつながるイベントの企画実施、地元行事への参加、神崎地区での荒廃農地の解消を図るプロジェクト等にも積極的に取り組み、地域の活性化に大いに寄与していただきました。

1 志高西舞鶴線・物部西舞鶴線の通行止めを問う

Q 城屋地区をまたぐこの2路線は相次ぐ自然災害により今もなお通行止めである。同じ地域での2路線同時通行止めは近隣住民の生活を大いに不便なものにし、迂回路の慢性的な渋滞も相まって市民に多くの苦勞を強いている。現在の状況と復旧計画について問う。



野瀬貴則 議員

A 京都府において両府道の国の災害査定を受ける準備を進めていただいております。引き続き災害復旧工事を早期に発注し、志高西舞鶴線については2019年内に、物部西舞鶴線については2019年度末までに、通行止めを解除したいと考えております。

2 自治体業務の効率化・省力化は

Q マイナンバーカードを利用してコンビニ等で各種証明書の発行ができる自治体が増えてきている。市としてもこれを導入して窓口業務を効率化し、より市民サービスを充実させるべきかと考えるが市の見解を問う。

A お尋ねの庁舎内での端末設置を含む証明書等のコンビニ交付サービスの導入につきましては、現在、全国的にマイナンバーカードの取得率が伸び悩む中、費用対効果等の課題もありますことから、さらなるマイナンバーカードの普及促進と合わせ、総合的によく検討してまいります。

1 災害時の東市街地区の排水について問う

Q 大規模災害時、東市街地区の浸水被害がある。特に志楽川沿川の愛宕地区で志楽川の逆流が見受けられ、愛宕地区・市場地区・竜宮地区の住民の皆さんから伺った話では、川から逆流した水が、側溝から噴水のように吹き上がり、その水が道路を走り愛宕下町方面に流れているとのことであった。現場を確認すると、愛宕浜町方面が地盤が高く、愛宕下町方面が低くなっていた。増水ごとに住民の皆さんの不安な思いや子供たちがその被害に遭わないかを心配している。浸水対策には逆流防止対策などが必要かと考えるが今後の取り組みを問う。



鯛 慶一 議員

A 一昨年の台風21号直後から、防災関係職員によるワーキンググループを編成し、京都府と舞鶴市が現地調査や検討会議を実施しております。沿川住民の皆様への聞き取り調査などを行い、今年度は京都府において、河川の土砂の堆積状況などを調査していただきました。その結果、排水口が低い箇所や外水の逆流、内水の排水不良などを確認しました。舞鶴市としては、京都府と連携し、さらに詳細な浸水メカニズムの検証を進め、来年度より東市街地への逆流防止対策などに鋭意取り組んでまいります。

1 クルーズ客船の寄港によるまちの賑わいは!

Q 京都舞鶴港へのクルーズ客船の寄港が着実に根付いてきている今、市としての今シーズンのクルーズ客船受け入れの評価と今後の展望について問う。

また、舞鶴市民のクルーズ客船への関心を高め、市民のおもてなし力を醸成するための取り組みについて問う。



仲井玲子 議員

A 本年度のクルーズ客船の寄港回数は初入港の4隻を含め23回、来訪者は乗船客、乗務員合わせて約5万7千人となり、本市をはじめ京都府北部地域の活性化に寄与しているものと考えております。

今後も既存のサポーター制度をさらに発展させ、寄港スケジュールや見送りイベントなどの情報を積極的に発信し、市民の歓迎ムードを高めてまいりたいと思います。

2 地域の高齢者の方を支えるコミュニティづくりを問う

Q 高齢化に伴い、民生児童委員の負担が増大している。地域のコミュニティの場づくり、相互に見守り合うことで負担軽減につながるのではないかと。市としての支援について問う。

A 市では、民生児童委員の業務について整理することと併せ、民生児童委員の負担軽減につながる地域の高齢者が役割を持って生きいきと活躍できる地域コミュニティづくりに努めてまいります。

1 在宅療養の医療的ケア児への災害避難体制整備支援を問う

Q 「医療的ケア児」の緊急避難先は、ほとんどがかりつけの医療機関と指定されるのが現状である。「医療的ケア児」の個別避難計画作成においての、対象者把握や受け入れ施設の整備ができていないのかを問う。



田畑篤子 議員

A 舞鶴医師会、及び、関連団体と連携を図り、優先度を考慮した避難個別計画の充実を図ります。戸別訪問など丁寧な説明と内容の充実を図り、生命と安全確保に努めます。受け入れ施設とは予め受け入れ体制を定め連携を図ります。

2 在宅での医療的ケアで発生する廃棄物処理について問う

Q 医療的ケアには、人工呼吸器回路や加湿器、痰を引くときのチューブのプラスチックゴミが出る。また胃瘻に繋ぐ注射器に似た形態のプラスチック容器なども定期的に交換するためかなりの量が出る。家庭での廃棄物処理方法は「かかりつけの病院に持ち込むか、自分で処理場に持ち込むように」である。しかし在宅で24時間目の離せない医療的ケアを必要とする子の家族には大きな負担となる。家族の負担軽減の対策はできないのかを問う。

A 国・京都府医療機関等から情報収集し実態把握の上、危険性のある物を除いた医療的ケアで発生する廃棄物の排出方法を検討します。

1 舞鶴市における成人式の考え方を問う

Q 舞鶴市が成人式に期待していることは、ふるさと舞鶴を知り地元を愛し愛着を深めるきっかけとするためと理解しているが、成人式を20歳ではなく18歳と25歳や30歳で行い、若者が集える機会づくりの場としてみてはと考えるが市の見解を問う。



眞下隆史 議員

A 他市でも、住民主体による30歳での成人式を実施されており、地元在住の若者や市外に転出している若者が一同に集まる機会を、また、その在り方を幅広く市民の皆さんのご意見をお聞きする中で検討したいと考えています。

2 平成30年11月執行舞鶴市議会議員選挙の投票率低下を問う

Q 過去最低の投票率となった今回の選挙は、私たち議員も危機感を持って取り組むべきである。市民の皆さんには、市政状況に対する意思表示であるこの投票に対し、興味を持っていただく必要性を伝えることが重要であり、市と議会とがしっかりと手を組み目標数値を掲げ投票率を向上させる考えがないかを問う。

A 選挙管理委員会としては、市民の皆さんに対し選挙に関心をもち、主権者としての一票の権利を大切に行使いただけるよう主権者教育をはじめ、啓発・周知に工夫を凝らし地道に推し進めていきます。

この度、舞鶴市におきましては、市政を推進していくための最も上位に位置づけられる舞鶴市総合計画を策定いたしました。この総合計画はこれからの舞鶴市の8年間で前期4年間、後期4年間として策定したもので、その基本構想のもと各実行計画に基づき、まちづくりを進めていくものであります。私たち新政クラブ議員団は、舞鶴市の目指すべき都市像と基本理念を踏まえ、ま

ちづくり戦略である ①心豊かに暮らせるまちづくり ②安心のまちづくり ③活力あるまちづくりに向けて邁進してまいります。

また、地方分権の時代にふさわしい役割を果たすため、常に公正・公平を旨として市民に開かれた議会、議会機能の充実、及び効率的・効果的な議会運営に邁進し、市民福祉の向上と市勢の発展に努めてまいります。



“新政クラブ議員団”
メンバー

SHINSEI Member



仲井 玲子 野瀬 貴則 眞下 隆史 水嶋 一明